

長野県木曽町・長崎県松浦市 北海道福島町生徒友好交流事業

福島町が友好市町協定を締結している、長野県木曽町及び長崎県松浦市との中学生の交流が実施されました。

「長野県木曽町生徒受入」

8月5日（日）から8月8日（水）の日程で、生徒9名と引率者2名が来町しました。木古内駅で新幹線から降りた生徒たちの第一声は「さむい!!」前日までは30度越えの暑い北海道でしたが、この日は20度。逆に北海道らしさを感じ取ることができたのではないのでしょうか。

役場に到着、緊張した面持ちの9名が、地元福島町の生徒9名と初対面。自己紹介ではぎこちなかったのですが、途中からは笑みがこぼれる場面もあり、翌日からの交流に期待を膨らませました。



2日目は、朝から函館市へ。不安定だった天気は回復し、バスの中でもだいぶ打ち解け、笑い声が響きわたっていました。五稜郭タワーや快晴となった函館山へ行き、記念撮影をしました。



公会堂では、ドレスやタキシードに着替え、最初ははしゃがっていました。最後には全員ポーズを決めて、なかなかサマになっていました。



3日目は、町内の施設見学。

どこに行くにもあいにくの強風で、全員が楽しみにしていた岩部クルーズも、荒天のため中止となり、とても残念がっていました。暗い面持ちの中、横綱記念館では、案内をしてくれた小笠原副館長が千代の富士の実のお姉さんと知り、「えっ？」と驚き、すぐに記念撮影をお願いし、「お母さんに自慢してやろ」と暗い気分が吹き飛びました。

どんな強風でも寒くても、「海に入りたい!」という生徒たちの熱い思いに負け、海峡横綱ビーチへ行くことになりました。ビーチは強風のため貸切状態。風が吹く中、「さむい」と言いながら、足だけ海の中へ…。福島町まちづくり工房の方の配慮で、生徒たちをドローンで

撮影してくれました。木曽町にはない「海」を楽しめたようです。



また、パークゴルフも体験し、あちらこちらから聞こえる生徒の笑い声が、パークゴルフ場に響きわたっていました。

夕食は、宿泊先の庭でバーベキューをし、初めて食べるジンギスカンに「おいしい! おかわり!」と、みるみるうちに食材が無くなっていき、風が大変強く冷たい中でしたが、とても楽しいひと時となりました。

この日の夜は、ゆとらぎ温泉へ行き、その後、一緒に宿泊し、長い夜を楽しんだようです。あつという間の4日間でしたが、夏の楽しい思い出をつくることができました。